



ほむる

建設的な生き方へのお手伝い (Just do it !)
(カウンセリングのことは当社までお問合せ下さい)
【今月の一冊】 心を整える。
長谷部 誠 著 冬幻舎
ホームページ URL <http://www15.ocn.ne.jp/~prime21/>

発行日 2011年6月1日 Vol.104
発行元 有限会社プライム・コーポレーション
代表取締役 渡 邊 敏 徳
〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲147 番地
TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

100年後の日本

わが国は今、地震・津波・原発事故の三重苦という大災害の渦中にあります。100年後の日本はどんな国になっているのだろうか？今回の災害で日本が大きく変わるターニングポイントになる様な気がしています。

日本人が戦後66年作り上げてきたライフスタイルは、街中のネオンをギンギンガラガラに明るく無駄に使用し、GDP(国内総生産)を引き上げてきました。そして、「GDP世界第二位」という国家の位置づけを続け、もっと豊かに、もっと便利にということを求め、科学や技術を高めてきました。科学や技術の進歩は必要なことであるし大切なことだと思います。科学の発展は、これまで物質的な豊かさのために使ってきましたが、今回の原発事故はその限界を教えてくれているのではないかと感じます。

しかし、私たちは急に江戸時代のような生活には戻れませんが、これから本当に人間の幸せに寄与する科学や技術のあり方を探していく必要があります。目に見える物質的な豊かさを追いかけてきた時代から、人間がもっと謙虚になるチャンスを得ました。そして、私たちは今回の地震で、目に見えないものの恐ろしさを痛感しました。本当に生き方や考え方を変えることを迫られています。

私たちの住んでいるアジアに注目すべき国があります。それはブータン王国 (Bhutan)という小さな仏教国です。北は中国、南はインドとそれぞれ国境を接していて、人口約70万人、面積は九州とほぼ同じ広さです。主要産業はGDPの約35%を占める農業だが、最大の輸出商品は電力である。国土がヒマラヤの斜面にあることを活かし、豊富な水力による発電を行い、インドに電力を売却することにより外貨を得ています。

注目すべきは、国にとって大切なものはGDP(国内総生産)ではなくGNH(国民総幸福量)と位置づけていることです。建国以来、節度ある開国を基本とし、農業と森林を守りながら、あえてスローな近代化を選んできた。物質的な豊かさはなくても、心豊かな生活が保たれています。『世界一幸せな国』と称されるブータン。私たち先進国も途上国に学び、本当の意味での先進国を目指したいものです。



感動メッセージ

【twitter 内で書かれたつぶやき】

- ・ 4時間の道のりを歩いて帰るとき、「トイレのご利用どうぞ！」と書いたスケッチブックを持って、自宅のお手洗いを開放していた女性がいた。日本って、やはり世界一温かい国だよ。あれ見た時は感動して泣けてきた。
- ・ ホームで待ちくたびれていたら、ホームレスの人達が寒いから敷けて段ボールをくれた。いつも私達が横目で流しているのに。あたたかいです。
- ・ 停電すると、それを直す人がいて、断水すると、それを直す人がいて、原発で事故が起これば、それを直しに行く人がいる。勝手に復旧しているわけじゃない。僕らが室内でマダカナーとか言っている間クソ寒い中で死ぬ気で頑張ってくれてる人がいる。
- ・ 子どもがお菓子を持ってレジに並んだけれど、順番が近くなり、レジを見て考え込み、レジ横にあった募金箱にお金を入れて、お菓子を棚に戻して出て行きました。店員さんがその子供の背中に向けてかけた、「ありがとうございます」という声が震えてました。
- ・ 千葉の友達から。避難所でおじいさんが「これからどうなるんだろう」と漏らした時、横にいた高校生ぐらいの男の子が「大丈夫、大人になったら僕らが絶対元に戻します」って背中さすって言ってたらしい。大丈夫、未来あるよ。
- ・ 電車で聞いたおばあちゃんの会話。「警察が電気足りないから電灯消せって」「私たちは御国のために電気消して過ごすのは慣れているよ。今回は頭の上に爆弾降って来るわけじゃないんだもの、喜んで消すわよね」周囲の人々一瞬しん…となる。涙が出そうになった。



がんばれ 日本！

